

プッシュマスター樹脂ヘッダー(CJヘッダー)専用ワンタッチ金属架台取扱説明書

- ・製品を使用する前に本書を注意深く読み、よく理解して下さい。
- ・いつでも使用できるように本書を大切に保管して下さい。

⚠ 安全上の注意

- 本製品をご使用になる前に、以下に述べる安全上の説明をよく読み、内容を十分に理解して下さい。
- 製品本来の使用方法、および取扱説明書に指定した使用方法・指示手順を守って下さい。
- 本書に記載されている警告事項を守って下さい。これを怠ると、人身傷害や製品の破損を招く恐れがあります。

【安全に関する注意区分】

本書で用いる安全に関する注意事項は、「注意」という見出し語と三角形セーフティアラートシンボルと組み合わせた、次に示す見出しによって表示しています。



：これは、安全警告記号（セーフティアラートシンボル）です。

この記号は、潜在的に人に危害を与える危険に対する注意を喚起するために用いています。

傷害・死亡事故を回避するため、この記号の後に続くすべての安全メッセージに従って下さい。

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があります。

本書では安全に係わらない「他の注意表示」として、「注記」の見出しを用いています。

注記

指示に従わないと、他の財物の損傷、この製品自体の故障・損傷、性能不発揮、誤動作などを引き起こす可能性があります。また、知っておくと役立つ情報も提供します。

**注意**

金属プレートを切断するなど、加工はしないで下さい。
加工面により、手などを切る恐れがあります。

注記

プッシュマスター樹脂ヘッダー(CJヘッダー)は、専用の架台で固定して下さい。専用の架台以外のもので固定すると、固定度不足により、異音の発生、擦れによる破損を招く可能性があります。

**1. サイズ・仕様****■ ワンタッチ金属架台セット 保温材無ヘッダー用 低台**

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート	バンド	NJ-MP NJ-MPL CJ-MCB
CJ-MCS	2~5	1	-	2
CJ-MCM	6~8	-	1	3
CJ-MCL	9~11	2	-	4
CJ-MCX	12~14	1	1	5

■ ワンタッチ金属架台セット 保温材付ヘッダー用 低台

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート	バンド	NJ-MP NJ-MPL CJ-MHB
CJ-MHS	2~5	1	-	2
CJ-MHM	6~8	-	1	3
CJ-MHL	9~11	2	-	4
CJ-MHX	12~14	1	1	5

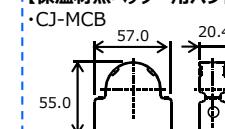
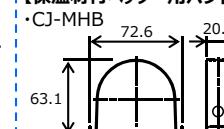
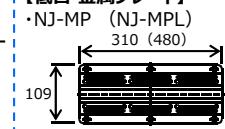
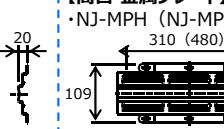
■ ワンタッチ金属架台セット 保温材付ヘッダー用 高台

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート	バンド	NJ-MPH NJ-MPHL CJ-MHB
CJ-MCSH	2~5	1	-	2
CJ-MCMH	6~8	-	1	3
CJ-MCLH	9~11	2	-	4
CJ-MCXH	12~14	1	1	5

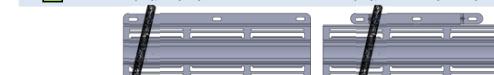
■ ワンタッチ金属架台セット 保温材付ヘッダー用 高台

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート	バンド	NJ-MPH NJ-MPHL CJ-MHB
CJ-MSH	2~5	1	-	2
CJ-MHMH	6~8	-	1	3
CJ-MHLH	9~11	2	-	4
CJ-MHXH	12~14	1	1	5

*ビスは含まれませんので、下地条件に合わせたものをご用意下さい。

【保温材無ヘッダー用バンド】**【保温材付ヘッダー用バンド】****【低台 金属プレート】****【高台 金属プレート】****2. 施工方法**

- 1 プレート固定位置の墨出しをして、固定する下地材に下穴をあけ、4点（左右2カ所ずつ）でビス固定する。



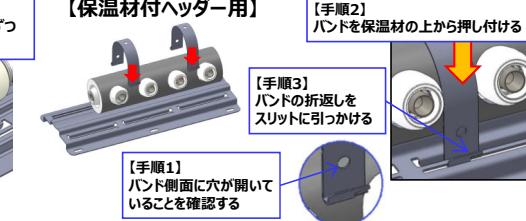
・下穴加工の際は墨出しをしてから、ドリル作業を行って下さい。

・ビスは下地条件に合わせたものをご使用下さい。（コンクリート下地の場合は、下穴加工の後、Φ4~5×32mmのコンクリートビス（なべ）の使用を推奨します）

- 2 樹脂ヘッダー(CJヘッダー)をプレート中央に載せ、バンドで樹脂ヘッダー連結部を固定する。保温材無ヘッダー用バンドはスリット内側の折返しに、保温材付ヘッダー用バンドはスリット外側の細い部分に折り返しを引っかけて固定する。

【保温材無ヘッダー用】

- [手順1] ハンド側面に穴が開いていることを確認する
- [手順2] 爪部分をヘッダーのキャップに引っかける
- [手順3] パネル部分を片側ずつしっかりと押しこむ
- [手順4] プレート内側の折返しに引っかける
- *必ず、片側ずつ取り付けて下さい。

【保温材付ヘッダー用】

- [手順1] バンド側面に穴が開いていることを確認する
- [手順2] バンドを保温材の上から押しつける
- [手順3] バンドの折返しをスリットに引っかける

・CJヘッダー用バンドには、NJヘッダー用バンドとの識別用の穴が空いてあります。CJヘッダー施工時には、バンドに識別穴が空いていることを確認してから固定して下さい。（NJヘッダー用バンドは使用出来ません。）

・保温材（回転式）付ヘッダーは保温材の切目をテープで留めてから固定して下さい。

・樹脂ヘッダー両端が架台からはみ出さないように中央に寄せて固定して下さい。

・バンドの間の分岐口数が3口以内になるシグナルで固定して下さい。

（固定位置の詳細については、裏面の「4. 各分岐口数でのバンド固定位置」を参照して下さい。）

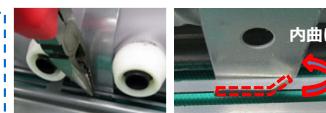
・HIVPソケット(CJH)をCJヘッダーに接続する際は、「分岐口数+1」として架台を選定して下さい。

③設置完了。
(金属架台でヘッダー全体を支える構造)



■保温材付ヘッダー用バンド外れ防止方法

保温材があることで、施工後に押されてしまうことによりバンドが外れてしまうことがあります。
バンド折り返しの一部を内側にラジオペンチ等で曲げることで、外れの防止が行えます。



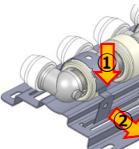
注記

折り曲げたバンドは再利用しないで下さい。金属疲労により破損する可能性があります。

3.バンドの取り外し方法

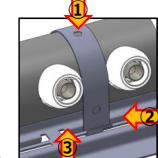
【保温材無ヘッダー用】

- ①バンドの水平部分をしっかりと押し込む。
- ②水平部分を押し込んだまま、側面を手前に引っ張る。



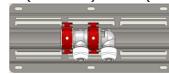
【保温材付ヘッダー用】

- ①バンドを下方向に押し込んでスリットから折り返しを外す。
- ②バンドを内側に押さえつける。
- ③ゆっくりとスリットからバンドを持ち上げる。

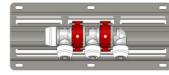


4.各分岐口数でのバンド固定位置

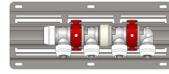
(分岐口数) 2 口 (支持個数) 2 個



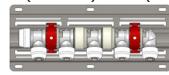
(分岐口数) 3 口 (支持個数) 2 個



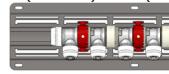
(分岐口数) 4 口 (支持個数) 2 個



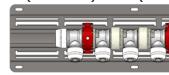
(分岐口数) 5 口 (支持個数) 2 個



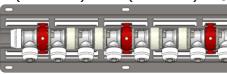
(分岐口数) 6 口 (支持個数) 3 個



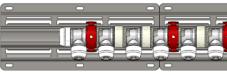
(分岐口数) 7 口 (支持個数) 3 個



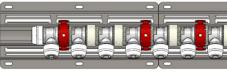
(分岐口数) 8 口 (支持個数) 3 個



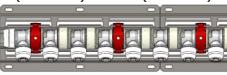
(分岐口数) 9 口 (支持個数) 4 個



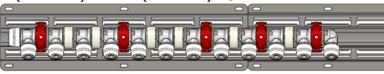
(分岐口数) 10 口 (支持個数) 4 個



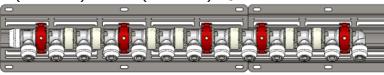
(分岐口数) 11 口 (支持個数) 4 個



(分岐口数) 12 口 (支持個数) 5 個

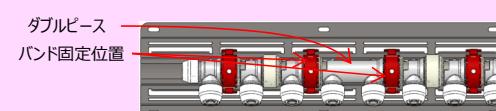


(分岐口数) 13 口 (支持個数) 5 個



バンド固定位置の設定方法

- (1) ヘッダー両端の分岐口の1つ内側を固定して下さい。
ただし、分岐口数が2口の場合は端部と内側を固定して下さい。
- (2) また、バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定して下さい。
ただし、保温材無ヘッダーにダブルピース（2連ヘッダーピース）が来る場合は、
バンドの間の分岐口数が2口以内になるピッチで固定して下さい。



5.施工上の注意事項



金属プレートを切断するなど、加工はしないで下さい。 加工面により、手などを切る恐れがあります。

- (1)ビスの下穴加工やビス固定の際は、樹脂ヘッダーに傷をつけないようにして下さい。
傷により強度低下となり、樹脂ヘッダーが破損する可能性があります。
- (2)バンドを押し付けて固定する際に、樹脂ヘッダーやパイプに傷をつけないようにして下さい。
傷により強度低下となり、樹脂ヘッダーが破損する可能性があります。
- (3)樹脂ヘッダーのパイプ接続口に取付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。異物侵入により、漏水を招く可能性があります。
- (4)バンドを必要以上に強く押さえつけたり、無理に広げたりしないで下さい。
バンドが変形し、樹脂ヘッダーを保持できなくなる可能性があります。
- (5)バンドを取り外す際にはバンドが変形しないようにして下さい。
変形により取り付け強度が低下する可能性があります。
- (6)金属プレートを連結する際は、フレート同士の段差が2mm以内となるように設置して下さい。
段差により、ヘッダーの破損となる可能性があります。
- (7)バンドは保温材無ヘッダー用と保温材付ヘッダー用で異なります。必ず専用のバンドで固定して下さい。形状の違いにより、取り付けができません。
- (8)樹脂ヘッダー横入れ口側に止水キャップを使用した樹脂ヘッダーの保温材が金属プレートからはみ出場合があります。その際は、樹脂ヘッダー本体は金属プレートからはみ出さないように注意して固定して下さい。支持不足により、ヘッダーが破損する可能性があります。
- (9)パイプ接続完了後、必ず水圧又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認を行って下さい。見逃しにより、被害拡大を招く可能性があります。
- (10)プッシュマスター樹脂ヘッダーには、プッシュロックIIのヘッダーパーツや継手類、プッシュマスター組立自在樹脂ヘッダー(NJヘッダーピース)は接続出来ません。必ず、プッシュマスター製品(NJヘッダーピースを除く)のみを使用して下さい。形状の違いにより、漏水を招く可能性があります。
- (11)樹脂ヘッダーは専用架台で固定して下さい。専用架台で樹脂ヘッダー全体を支える構造となっています。専用架台を使用せず、樹脂ヘッダーの下地への直固定や、樹脂ヘッダーを浮かせて設置する事は避けて下さい。支持不足により、ヘッダーが破損する可能性があります。
- (12)樹脂ヘッダーへのパイプ接続に際しては、プッシュマスターカタログに記載されている『パイプ接続手順及び注意』、『接続作業・その他注意』、『施工及び保管上の注意』に従って作業を行って下さい。接続ミスにより、漏水を招く可能性があります。

注記

6.保守・保全

- (1)樹脂ヘッダー及び専用架台に乗ること、蹴ること、重量物の積載などはしないで下さい。
外力により、樹脂ヘッダーが破損する恐れがあります。
(樹脂ヘッダー及び専用架台の施工後に、踏まれたり重量物が置かれたりするなどの可能性がある場合は、現場管理者と相談の上、十分な注意喚起と予防措置の実施をして下さい。)
- (2)樹脂ヘッダー及び金属架台に防蟻剤や防腐剤等の薬品が掛からない様に注意して下さい。
付着により劣化、損傷する可能性があります。
- (3)プッシュマスター樹脂ヘッダー以外に対して専用架台を使用することや、使用後の専用架台を他の施工現場で再度使用することはしないで下さい。固定度・強度不足により、外れ、破損等の可能性があります。

- (1)未使用品の保管においては、雨水等がかからない場所に保管して下さい。
- (2)建物引渡し前に、バンドの外れがないことを確認して下さい。
- (3)破損・変形が見られる場合は、2. 施工方法、3. バンドの取り外し方法を参考に交換して下さい。
- (4)製品に関するご質問は、カタログ記載のプリヂストン販売会社もしくは、(株)ブリヂストン(下記記載)へお問い合わせ下さい。
- (5)廃棄に当たっては、建設工事現場の廃棄方法（産業廃棄物・分別回収）に準じ、適切に行って下さい。

■製造元

株式会社ブリヂストン

HP : <https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html>

製造国名:日本

2023.2 改8 ⑤